

管内月間火山概況（平成 22 年 4 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月11日現在）

噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）：岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山

噴火予報（平常）：恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、
鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

4月9日に岩手県の協力により実施した上空からの観測では、女岳（めだけ）北東斜面の噴気地熱域で、昨年12月以降も地熱域が拡大しているのが認められました。

ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

栗駒山 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

吾妻山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

大穴火口の噴気活動はやや高まった状態が続いています。5月6日に、大穴火口の噴気孔周辺で硫黄が燃焼しているのを確認しました。

火山性地震はやや多い状況で推移しています。5月4日に継続時間約32分の火山性微動を観測しました。

4月15日～20日にかけて実施したGPS繰り返し観測では、前回（2009年10月29日～11月2日）の観測結果以降、大穴火口を挟む基線で伸びを示す変化が観測されました。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、引き続き、火口内では噴気、火山ガスの噴出等がみられますので警戒が必要です。

安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

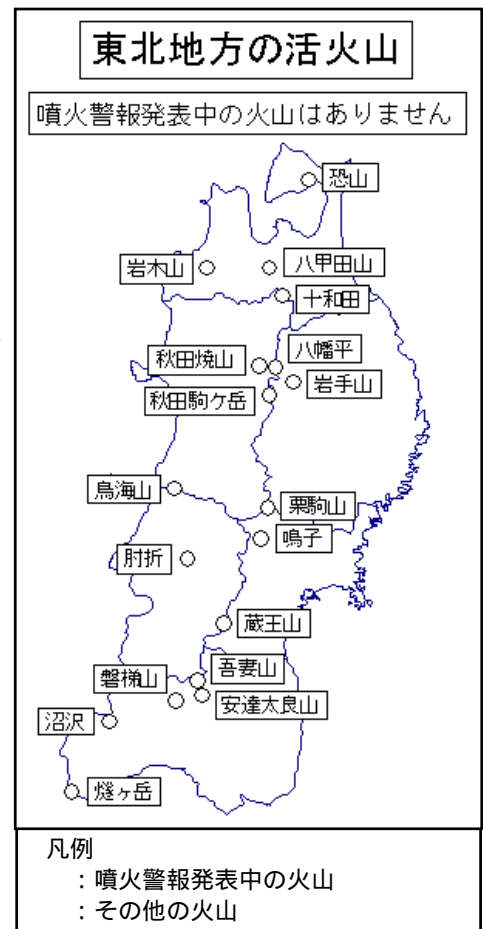
磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。

噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホーム



ページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

次回の管内月間火山概況（平成 22 年 5 月分）は平成 22 年 6 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、東北大学、弘前大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。